

企業融資にネット活用

県支援可否資金調達額で

県は中小企業の資金調達

を支援するため、新年度からインターネットで資金を募るクラウドファンディング(CF)を活用した新たな融資枠を設ける。これまでは貸し付けの対象にならなかった企業にもCF活用を促し、調達額を踏まえて融資の可否を判断することを想定。CFによる資金提供者の反応が良ければ、融資額増額も可能にする制度にしたい考えだ。

県は、2015年度から投資サイト運営会社「ミュー

ージックセキュリティー

ズ」(東京都千代田区)に事業委託し、同社がサイトに開設した特設ページ「いね!あいち応援ファンド」で、県内企業の商品開発など事業資金を募っている。資金提供者は、利用者の登録した上で、サイト指定の口座を通じて投資。企業は、資金提供者の意見も参考にしながら事業を進め、運営期間満了後に分配金を支払う仕組み。

15年度は県内9社が全国延べ1494人から総額5

234万円を集め、8社は目標額の210万円〜1050万円に2〜23日間で到達した。資金提供者には各社が特典として商品や店の利用券を送った。

ちょうちん製造(名古屋市瑞穂区)	315
飲食(同市中村区)	400
芳香製品販売(同市天白区)	※963
豆腐製造販売(高浜市)	526
ごま製造(一宮市)	300
業務用メッシュ製造(豊橋市)	525
うなぎ加工品製造(同市)	1050
日本酒製造(同市)	945
ツバキの生産・養蜂(稲沢市)	210

※唯一目標額に達せず92%まで調達

◆昨年度県のCF活用促進事業で資金を募った事業者の業種と調達額(万円)

今年度も、事業計画策定の支援を受けた別の8社が、3月末までに専用サイトを通過して資金を調達する予定。その一つ、安城市の雑貨製造販売「ランド」は、

「店の特徴や会社の思いも合わせて全国へPRできる。店の新たな顧客獲得にもつながると思って手を挙げた」と話している。

県は今年度、県の融資の窓口となる金融機関に対し、CFの説明会を3回開いた。新年度から窓口でCF活用を促してもらい、企業の資金調達の幅を広げる

ことで、起業や中小企業の商品開発促進につなげたいとしている。